



RX220 接続ガイド

1.2版

《改版履歴》

版数	改版年月日	改版内容
1.1版	2023/06/05	<ul style="list-style-type: none">・ 3. 端末仕様：対応ブラウザの更新・ 6-2. 初期設定：APN、宛先IPアドレス、宛先ネットマスク、本体側IPアドレスの設定内容の更新
1.2版	2023/11/21	<ul style="list-style-type: none">2. 同梱物の確認：同梱物のを修正9. お問い合わせ窓口：窓口を修正

目次	P1
1. 本書について	P2
2. 同梱物の確認	P3
3. 端末仕様	P4
4. 各部名称について	P5
5. SIMカードについて	P6~7
6. 接続設定	P8~16
7. その他機能設定	P17~21
8. 困ったときには	P22
9. お問い合わせ窓口	P23

1. 本書について

このたびは、弊社モバイルサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、本書「接続ガイド」をよくお読みいただき、正しくお使いください。


ご不明な点がございましたら、本書記載の「9. お問い合わせ窓口」をご確認いただきお問い合わせください。「8. 困ったときには」にも、よくお問い合わせいただく内容一覧をまとめておりますので、ご活用ください。

弊社モバイルサービスをビジネスツールとして、未永くご愛用いただけると幸いです。

● 本書の扱いについて

- 本書の一部または全部をNTTコミュニケーションズ株式会社の許可なく複写・複製・転載することを禁じます。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。
- 本書における記述は、情報を提供する目的で記載したもので、保証するものではありません。

● 商標および登録商標について

- IoT Connect Mobile Type Sは、NTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
 - Internet Explorerの正式名称は、Microsoft® Internet Explorer Internet browserです。
- Macintosh、Mac、Apple、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
-  とフリーダイヤルは登録商標です。
- その他、記載された商品名及び会社名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- 本文中の各社登録商標または商標には、一部®マーク等は表示しておりません。

● 最新版の接続ガイドの提供について

最新版の接続ガイドは、以下のURLよりダウンロード可能です。

https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/icms_function/icms_function.html#/device-description

2. 同梱物の確認

お手元に届いた個装箱に以下の物品が同梱されていることを確認下さい。

※接続に必要なとなるその他物品（接続設定用PC、イーサケーブル等）は、お客様でご準備下さいますようお願いいたします。

●同梱物一覧

RX220本体（1台）	 <p>メーカー提供の「スタートアップガイド」が同梱されています。</p>
本体専用 ACアダプタ（1個）	
本体専用 アンテナ（2本）	

3. 端末仕様



RX220本体

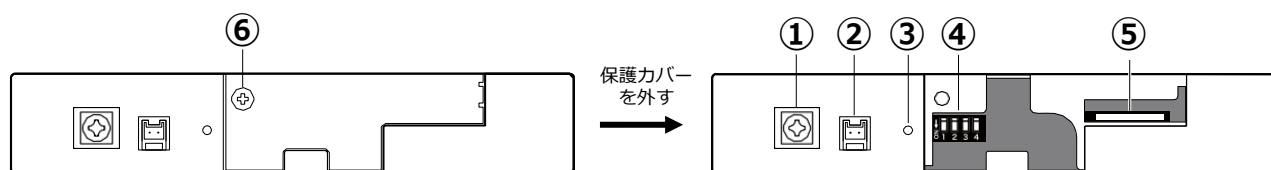
機種名	RX220 (サン電子社製)
アクセス方式	LTEアクセス
提供形態	お買い上げ
形状	LTE M2Mルータ
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none">・ LAN1 ポート : 10BASE-T/100BASE-TX× 1ポート (MDI/MDI-X 自動判別)・ WAN/LAN2 ポート : 10BASE-T/100BASE-TX× 1ポート (MDI/MDI-X 自動判別)
通信速度 (※1)	上り : 最大50Mbps、下り : 最大150Mbps
対応OS、ブラウザ	Windows 8以降、Mac OS X 10.6以降 (すべてRX220設定時) ・ Internet Explorer 10.0 以上あるいはChromeのブラウザを推奨。 ・ 上記以外のブラウザでは、正常に動作しない可能性あり。 ・ Microsoft Edge ブラウザは非対応。
音声通話	非対応
Ethernet端子	対応
電源	電圧 : DC5~27.4V (±5%)、消費電力 : 最大5W
動作環境	動作温度 : -20℃~60℃ 動作湿度 : 25%~85% (結露なきこと)
寸法	22(H)×81(D)×127(W) 単位mm (突起部、取付金具除く)
質量	約350g (本体のみ)
国際ローミング	非対応
アンテナ	外付型 (本体1台に2本必要となります)
無線LAN	非対応
IPv6	非対応
SMS機能	受信対応 (WakeOn着信機能使用時 ※2)
自律接続維持機能	死活監視や定时リセット設定など、自己復帰が可能な機能を搭載し、無人環境下でも安定運用を提供します。
付属品	<ul style="list-style-type: none">・ アンテナ2本 (品名 : MB アンテナ ADN-0736T-25)・ ACアダプタ1個 (品名 : RXAC ADP-18HW BH)

※1 : 記載の最大通信速度は技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は通信環境やネットワークの混雑状況により変化します。

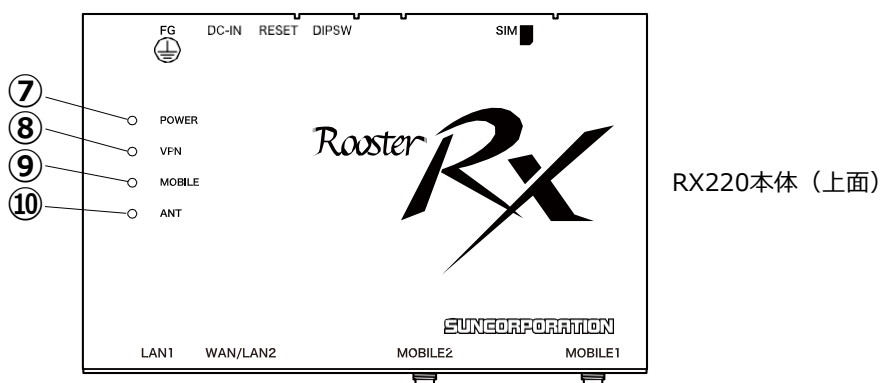
※2 : WakeOn 着信とは、待ち受け状態のモバイル通信端末を、遠隔地からの操作によりダイヤルアップさせることを可能とする機能です。(SMSによる着信に対応)

4. 各部名称について

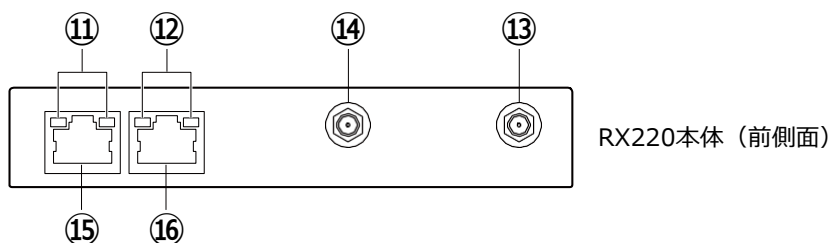
RX220本体の各部名称と機能



RX220本体（後側面）



RX220本体（上面）



RX220本体（前側面）

① FG端子	アース線を接続します。	
② DC INコネクタ	電源を接続します。	
③ RESET スイッチ	先の細いピンなどを使って6秒以上押し続けると、MOBILEランプ、VPNランプともに点滅し、工場出荷時の設定に戻り、再起動します。	
④ DIP スイッチ	使用しません。	
⑤ SIM カード挿入口	SIMカードを挿入します。	
⑥ SIM カード挿入口ネジ	SIMカード挿入口（⑤）の使用時には、このネジを外して保護カバーを取り外してください。	
⑦ POWER ランプ	電源状態が表示されます。	
⑧ VPN ランプ	VPN セッションの動作状態が表示されます。	
⑨ MOBILE ランプ	モバイル通信端末の動作状態が表示されます。	
⑩ ANT ランプ	電波状態を表示します。	
⑪ LAN ランプ	⑮LAN1ポートへの、LAN接続機器の接続状態が表示されます。	
⑫ WAN ランプ	⑯WAN/LAN2ポートへの、WAN/LAN2接続機器の接続状態が表示されます。	
⑬ MOBILE1 コネクタ(SMA)	外部アンテナを接続します。	※アンテナは、必ず付属の本体専用アンテナを使用し、2本接続してください。
⑭ MOBILE2 コネクタ(SMA)	外部アンテナを接続します。	
⑮ LAN1 ポート	LAN ケーブルで、LAN 接続機器およびハブ等を接続します。	
⑯ WAN/LAN2 ポート	LAN ケーブルで、LAN 接続機器およびハブ等を接続します。	

5. SIMカードについて

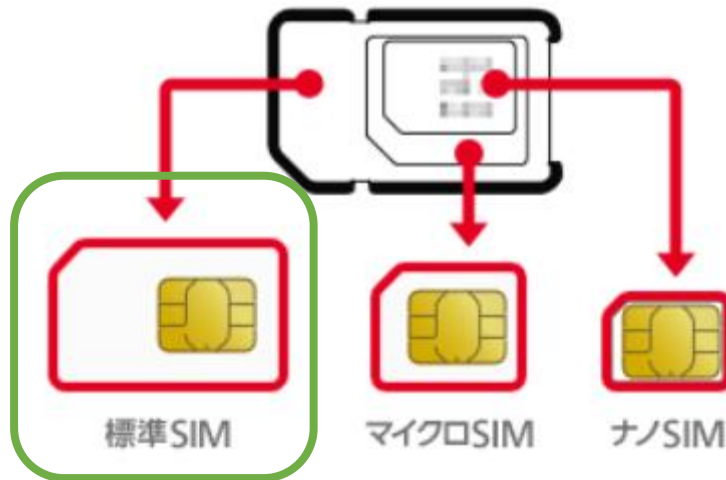
(1) IC部分の取り外し方

* IC部分に触れないように手袋などを着用して、SIMカードを取り外してください。
IC部分に直接触れてしまった場合は乾いた柔らかい布などで拭いてからご使用ください。

■ マルチカットSIMカードの扱いについて

マルチカットSIMカードを本商品へ取り付けや取り外す際は、必要以上の力を加えないでください。手や指を傷つけたり、故障の原因となることがあります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください、誤って飲み込むなど、事故やけがの原因となります。

- (1) 「マルチカットSIM」は任意のサイズにカットでき、「標準SIM」、「microSIM」、「nanoSIM」の3サイズに対応します。
本商品で「標準SIM」となります。

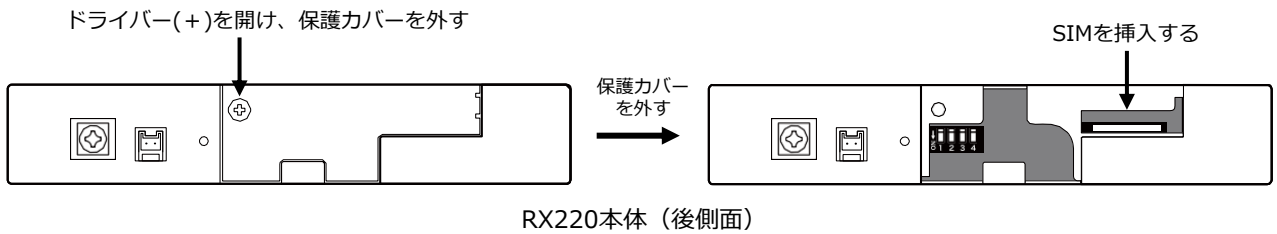


5. SIMカードについて

(2) SIMカードの挿入方法

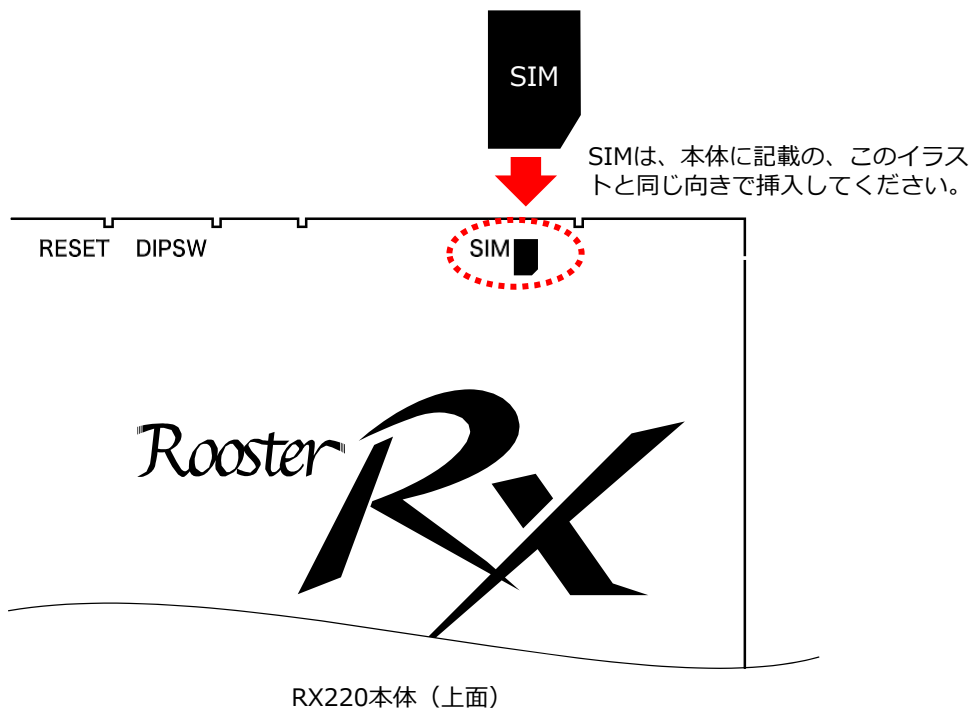
① 本体側面のネジを外します。

<ご注意> 出荷時、SIMカード蓋を留めるネジは固めになっています。蓋を取り外す際はネジ山を潰さぬよう、ネジの切り込み形状に嵌合した、トルクが大きくなるよう極力握り部が大きなプラスドライバーをご利用下さい。調整用ドライバーはトルクが小さいためネジ山を潰す可能性があります。



② 本体にSIMカードを挿入します。

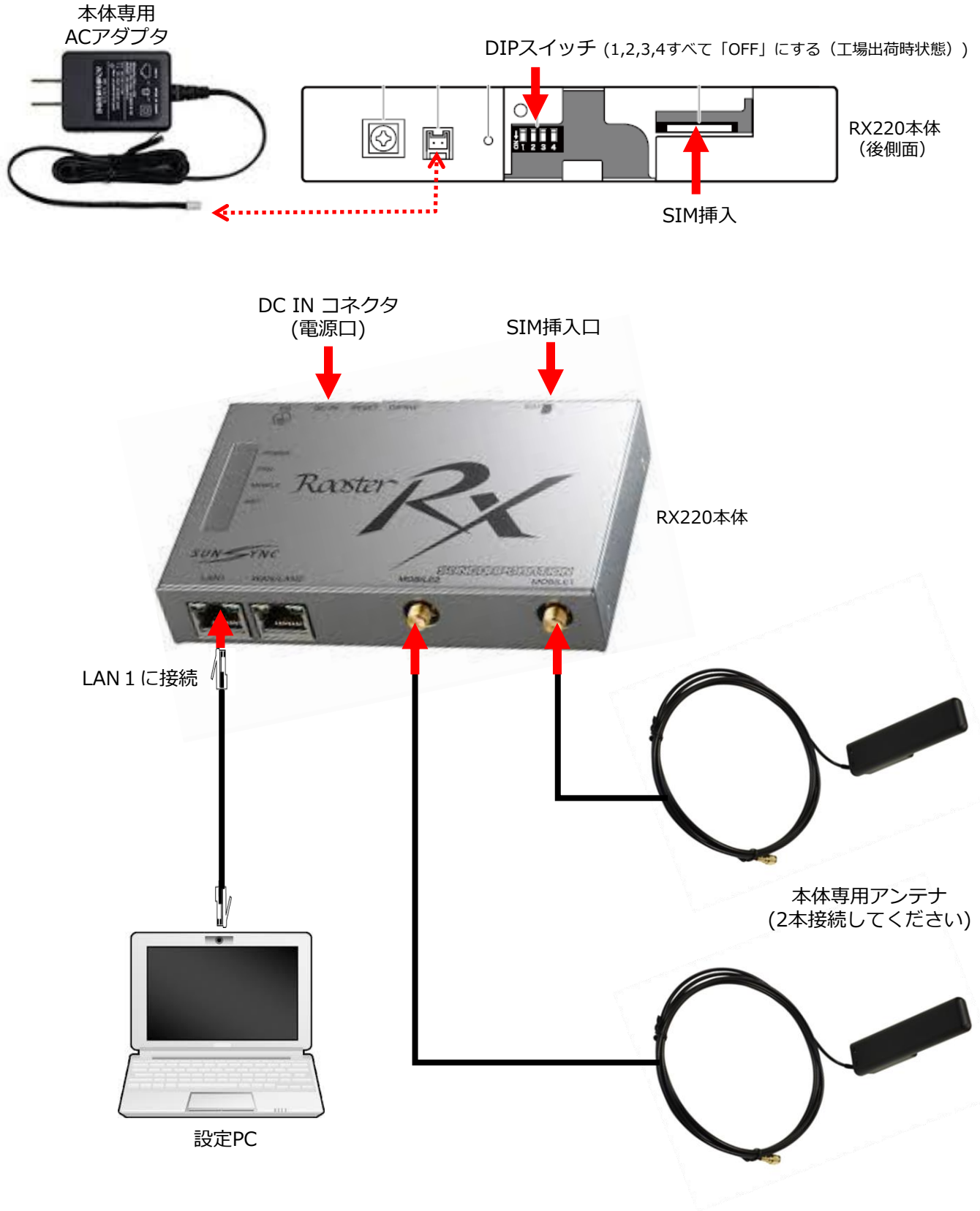
本体に表示されているイラストと同じ向きで「カチッ」と音がし、ロックされるまで挿入してください。



6. 接続設定

■ 接続イメージ

下図を参考に接続してください。



6. 接続設定

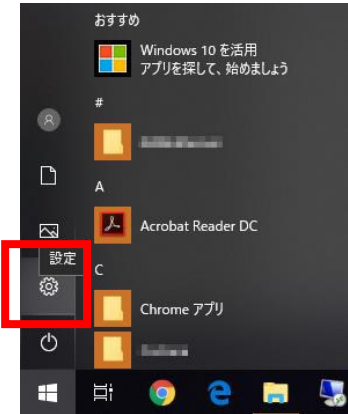
6-1. パソコンの設定

RX220にアクセスできるように、パソコンにDHCPクライアントの設定をします。本書ではWindows10の設定画面にて説明します。パソコンには管理者権限でログインしてください。

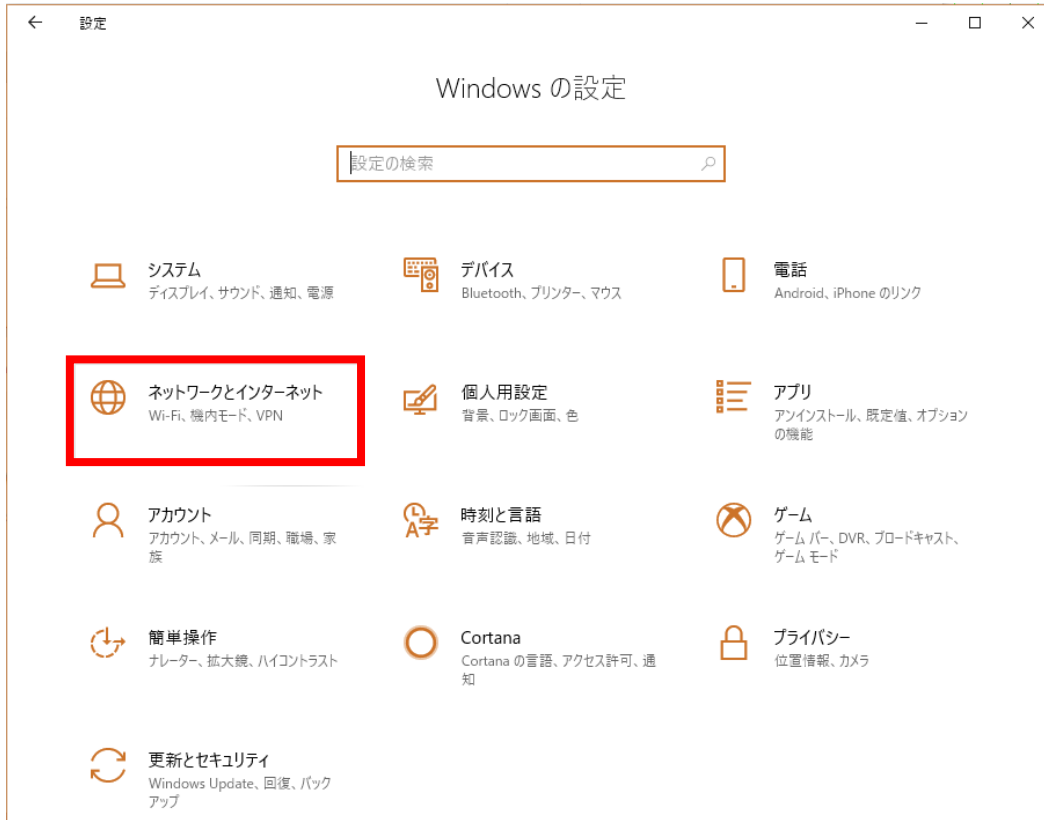
<必要な環境>

TCP/IP が利用できるOS (Windows、MacOS、各種UNIX など) を搭載し、イーサネットポート搭載のパソコンを使用します。Internet Explorer 10.0 以上のブラウザを推奨します。それ以外のブラウザでは、正常に動作しない可能性がございます。Microsoft Edgeブラウザは非対応です。

- ① スタート画面から「設定」を開きます。



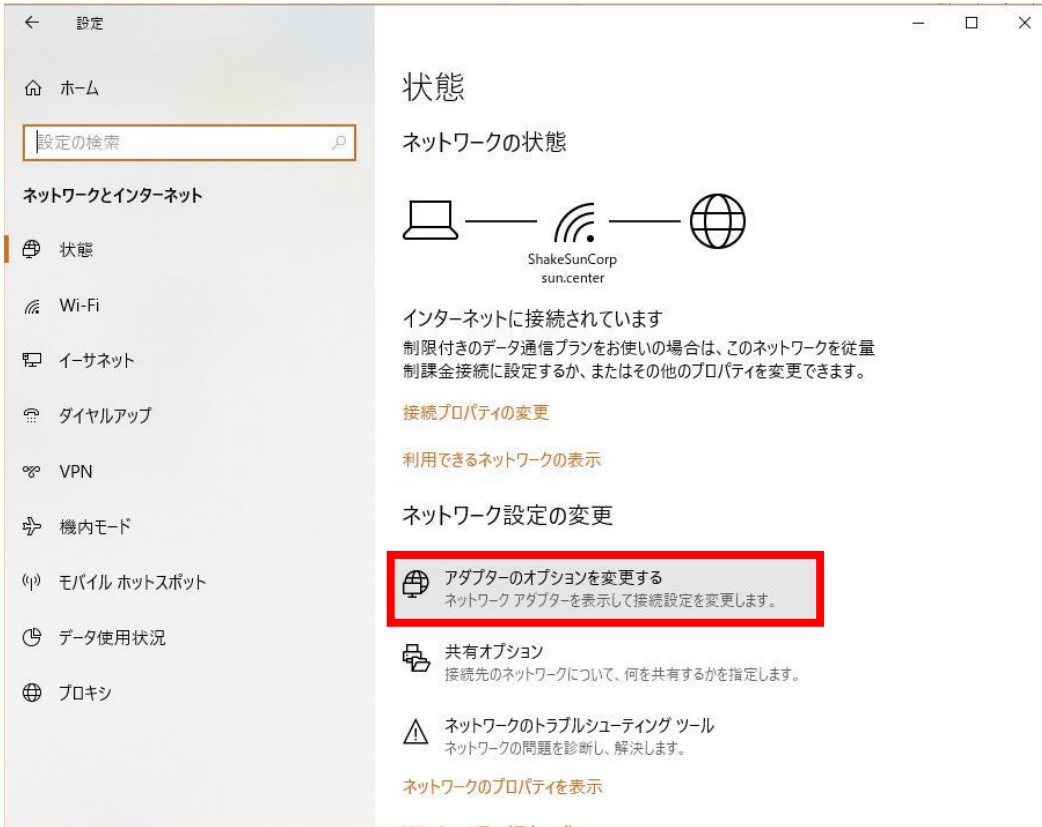
- ② 「ネットワークとインターネット」を開きます。



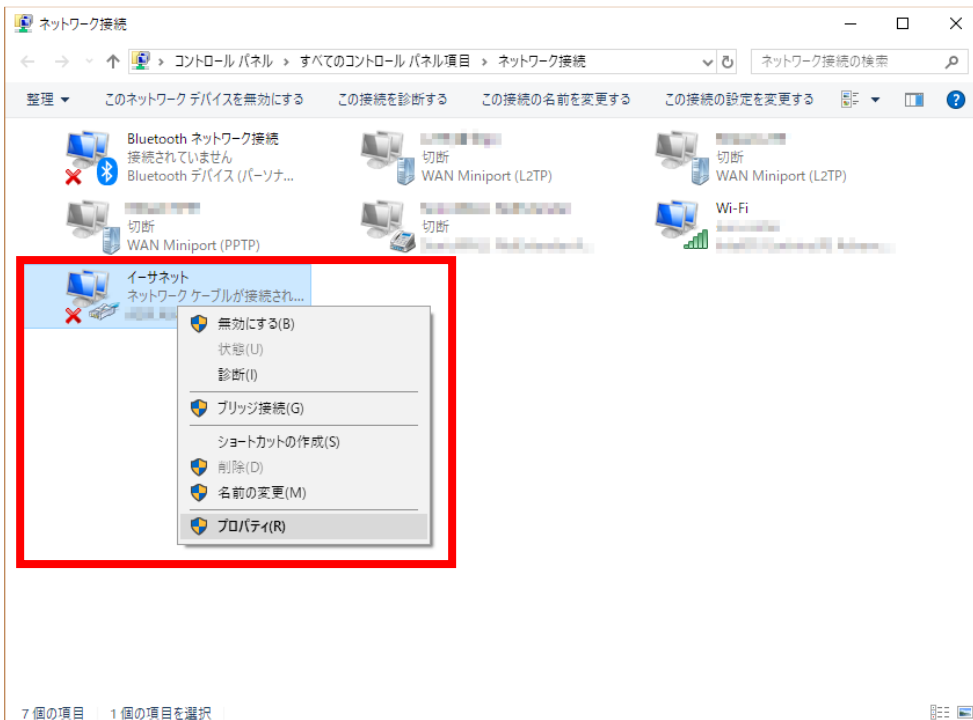
6. 接続設定

6-1. パソコンの設定

③ 「ネットワークの状態」から「アダプターのオプションを変更する」を開きます。



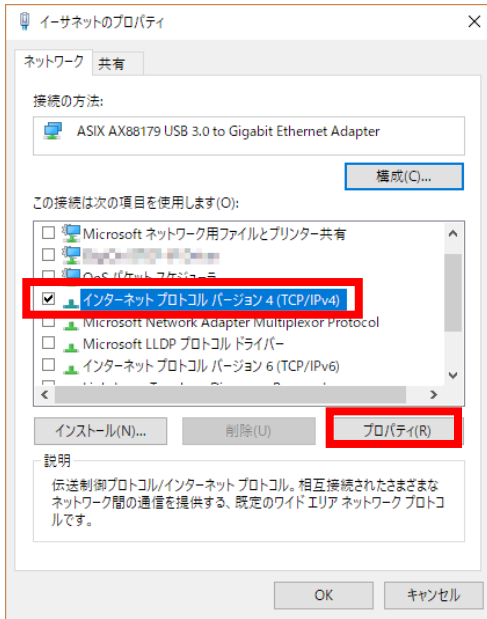
④ [イーサネット] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。



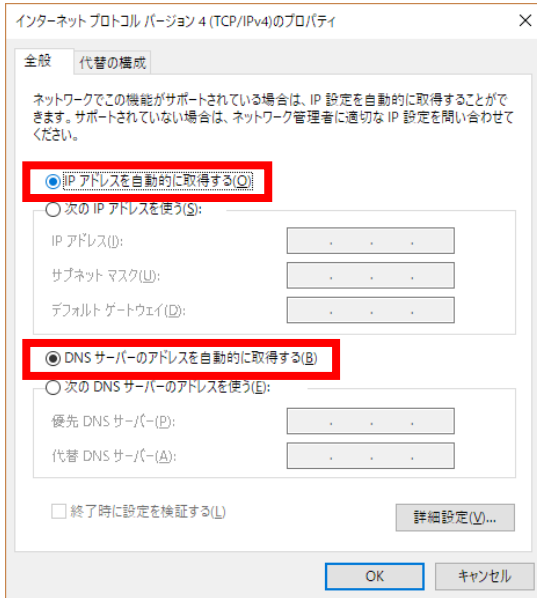
6. 接続設定

6-1. パソコンの設定

- ⑤ [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選び、[プロパティ] ボタンをクリックします。インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティが表示されます。



- ⑥ [IP アドレスを自動的に取得する]、[DNS サーバのアドレスを自動的に取得する] を選択します。



- ⑦ [OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。
「ローカルエリア接続のプロパティ」画面も、[OK] ボタンをクリックして閉じます。

6. 接続設定

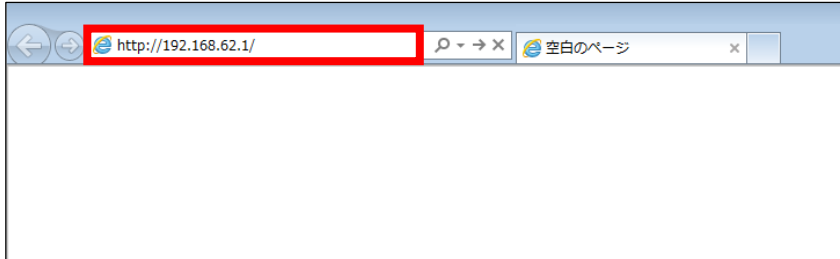
6-2. 初期設定

パソコンからRX220に接続して、ネットワークやパスワード変更などの初期設定をするまでの手順について説明します。

① 以下の手順を参考に、Rooster Web設定ツールへのログインしてください。

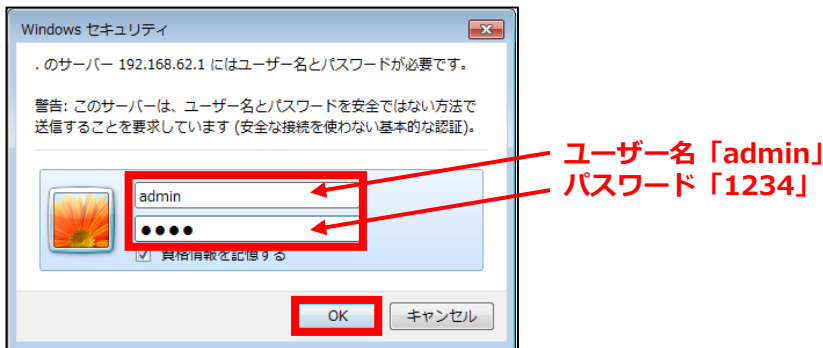
WWWブラウザを起動します。

アドレス入力欄に、RX220のLAN 側IP アドレス「http://192.168.62.1/」（工場出荷時状態）を入力し、Enter キーを押します。



ログインダイアログボックスが表示されます。

ユーザー名に「admin」、パスワードに「1234」（工場出荷時状態）と入力した後、[OK] ボタンをクリックします。



パスワード変更画面が表示されます。

工場出荷時状態のパスワード「1234」から、新しいパスワードへ変更してください。

パスワードは、8文字以上で設定して「変更」をクリックします。

「後で変更」ボタンをクリックしても次の画面に進みますが、パスワードを変更するまでログイン後にパスワード変更画面が表示されます。パスワードを変更した場合、再度ログインダイアログボックスが表示されます。新しく設定したパスワードで再度ログインしてください。

6. 接続設定

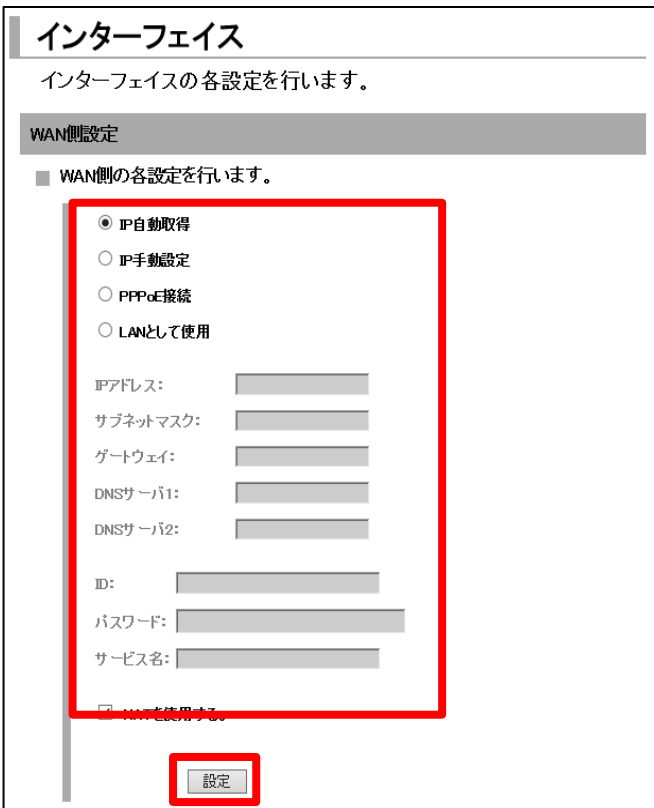
6-2. 初期設定

② LANの設定を行います。

「インターフェイス」⇒「LAN」をクリックし、IPアドレス「192.168.62.1」、サブネットマスク「255.255.255.0」を入力し、「設定」をクリックしてください。



③ WANの設定を行います。「インターフェイス」⇒「WAN」をクリックし、WAN側の各設定を入力後、「設定」をクリックしてください。IPアドレスは、自動取得（工場出荷時状態）でも接続可能です。



※途中このように[設定]をクリックすると[再起動する]かを問われますが、一旦は[後で再起動する]をクリックし、最後に[再起動する]をクリックします。

設定を有効にするためシステムを再起動する必要があります。

全ての接続は一旦切断されますが、再起動を行ってよろしいでしょうか？

再起動する

後で再起動する

6. 接続設定

6-2. 初期設定

- ④ APNの設定を行います。
「インターフェイス」⇒「モバイル通信端末」⇒「APNの設定」をクリックし、「変更」をクリックしてください。

インターフェイス
インターフェイスの各設定を行います。

モバイル通信端末

■ モバイル通信端末の設定を行います。

APNの設定

モード	使用	操作
ダイヤルアップ	使用しない	設定
RAS着信	使用しない	設定
WakeOn着信	使用しない	設定

初期化ATコマンド:

設定



インターフェイス
インターフェイスの各設定を行います。

モバイル通信端末: APN設定

■ APNの設定を行います。

APNを追加する。

CID	APN	プロトコル	メモ	操作
1				<input type="button" value="変更"/> <input type="button" value="削除"/>

APN設定の詳細設定画面にて、以下を設定してください。

APN設定の詳細設定

CID

APN

プロトコル

メモ

[CID] 1

[APN]

設定内容はナレッジセンタよりご確認をお願いします。
https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/service-descriptions/technical_req/technical_requirements.html#/provision-conditions
「端末設定/インターフェース条件」

[プロトコル] IP

- ⑤ 通信事業者の設定を行います。
設定ツールのメニューから、「インターフェイス」 - 「モバイル通信端末」をクリックします。
通信事業者のプルダウンから「ローミング」を選択して、設定をクリックしてください。

インターフェイス
インターフェイスの各設定を行います。

モバイル通信端末

■ モバイル通信端末の設定を行います。

[APNの設定](#)

モード	使用	操作
ダイヤルアップ	使用しない	設定
WakeOn着信	使用しない	設定

初期化ATコマンド:

通信事業者: MVNO

6. 接続設定

6-2. 初期設定

- ⑥ ダイヤルアップの接続設定を行います。
設定ツールのメニューから、[インターフェイス] - [モバイル通信端末] - [ダイヤルアップ] をクリックし、以下の①～④の手順どおり設定してください。

インターフェイス
インターフェイスの各設定を行います。

モバイル通信端末:ダイヤルアップ

■ モバイル通信端末の設定 (ダイヤルアップ接続) を行います。
必要な場合は[RAS着信]および[フィルタリング]の設定を行ってください。

ダイヤルアップ接続を行う。 ①

ダイヤルアップ先の設定 ④

ダイヤルアップモード: 通常

自動接続を行う。
 セッションキープを行う。
 LCP Echo Requestによる接続監視を行う。
10 秒間隔
5 回連続無応答で切断

無通信監視を行う。600 秒
 NATを使用する。

本体側IPアドレス: 自動取得 IP固定

IPアドレス: _____

認証プロトコル: 相手に合わせる ②

設定 ③

インターフェイス
インターフェイスの各設定を行います。

モバイル通信端末:ダイヤルアップ

■ ダイヤルアップ接続先リストの設定を行います。
接続先を追加する。 **追加** ⑤

ダイヤルアップ接続先の詳細設定

No.	1
宛先IPアドレス	10.11.12.0
宛先ネットマスク	255.255.255.0
電話番号	*99***1#
ID	stuncomm
パスワード
接続方式	通常ダイヤルアップ
本体側IPアドレス	0.0.0.0
メモ	

設定 **キャンセル** ⑥

<手順>

- ① 「ダイヤルアップ接続を行う」をチェック。
- ② 「認証プロトコル」のプルダウンから「相手に合わせる」を選択。
- ③ 「設定」をクリック。(後で再起動するをクリック)
- ④ 「ダイヤルアップ先の設定」をクリック。
- ⑤ 「接続先を追加する」横の「追加」ボタンをクリック。
- ⑥ 「ダイヤルアップ接続先の詳細設定」画面にて以下を入力し、最後に「設定」をクリック。

- ・【宛先IPアドレス】 空欄 ※1
- ・【宛先ネットマスク】 空欄 ※1
- ・【電話番号】 「*99***1#」をそのまま入力。
- ・【ID】 空欄
- ・【パスワード】 空欄
- ・【接続方式】 「通常ダイヤルアップ」を選択。
- ・【本体側IPアドレス】 空欄 ※2
- ・【メモ】 コメントを入力。

※1 RX220はマルチ通信UIM非対応なので、空欄とします。

※2 IoT Connect Mobile Type Sご利用の場合はネットワーク側から本体側IPアドレスが振られるので、空欄とします。

※この画面が出た場合は、[再起動する]をクリックします。再起動しない場合は、「本体設定」⇒[再起動する]をクリックすると再起動され、設定内容が反映されます。再起動後は、自動的に回線接続されます。

設定を有効にするためシステムを再起動する必要があります。

全ての接続は一旦切断されますが、再起動を行ってよろしいでしょうか？

再起動する

後で再起動する

6. 接続設定

6-2. 初期設定

⑦ 回線の接続確認をします。

設定ツールのメニューから、[ステータス] - [モバイル通信端末] をクリックし、ステータス欄に「ダイヤルアップ接続完了」と表示されていればOKです。

※回線を選択する場合は、「ステータス」欄右横の、「操作」から「切断」をクリックします。

ステータス

現在の設定・状態を表示します。

モバイル通信端末

■ モバイル通信端末の通信状態を表示します。

No.	接続先 情報	接続先 メモ	ステータス	操作
1	*09xxx5# XXXXXX		ダイヤルアップ接続完了 詳細表示	切断 履歴

7. その他機能設定

●WANハートビート機能

WAN ハートビート機能は、WAN 側のネットワークが正常に動いているかどうかの確認を行うための機能です。

設定された監視時間ごとに、指定のIPアドレスまたは、ドメイン名を設定し、pingを送信します。

無応答が連続で発生した場合は、10回連続(工場出荷時状態)で失敗した時点で再起動するか、WANハートビートログに失敗のログを記録します。

〔WAN ハートビートのタイムアウト回数の設定ができる(10回を変更) TELNET コマンドがあります。〕

【設定方法】

設定ツールのメニューから「各種サービス」→「WANハートビート」をクリックします。

各種サービス

各種サービスの設定を行います。

WANハートビート

■ WANハートビートの設定を行います。

WANハートビートを使用する。

監視時間: 1 分

無応答時の動作: 無応答が連続して発生した場合、本機をリセットする。
 WANハートビートログを記録する。

監視先ホストの指定:

手動設定する: 128.4 VPN接続先

設定

<設定項目・パラメータ>

WANハートビートを使用する：チェック オン

監視時間：1～99999分

無応答時の動作：無応答が連続して発生した場合、本機をリセットする。
／ WANハートビートログを記録する。

監視先ホストの指定：

手動設定する：通信先のサーバ、GW等のアドレスまたは、ドメイン名

VPN接続先：チェック オフ/オン

(VPN接続先のネットワークIPアドレスに指定した場合のみオン)

7. その他機能設定

メモリーリーク等によるハングアップの防止のため、定期的な再起動の設定が可能です。

●ハードウェアによる再起動

ソフトウェアの状態にかかわらず、ハードウェア管理で確実に再起動を行います。

ソフトウェア設定が何らかの影響で動作しなかった場合の保険的な機能として、まずはソフトウェア設定が動作するように設定し、その後ハードウェア設定が動作するように設定することをおすすめします。

1～7日の指定した日にち間隔で再起動します。回線がつながっている状態でも、日にち間隔(24時間単位)で再起動が行われます。(実際の動作時間(間隔)は多少前後します)

●ソフトウェアによる再起動

ソフトウェア管理で再起動を行います。(本製品のOSで管理する)

曜日と時刻を指定した設定や、24時間ごとの再起動を設定できるため、システム上影響のないタイミングで本製品を再起動することができます。

※「回線接続中でも電源ON/OFFする」を選択した場合、設定時間がきたら通信を行っている場合でも強制的に再起動をします。

【設定画面】設定ツールのメニューから「本体設定」→「電源制御」をクリックします。

本体設定

本体の各設定を行います。

電源制御

■ 自動電源ON/OFFの設定を行います。

ハードウェアの自動電源ON/OFF機能を使用する。
間隔:

ソフトウェアの自動電源ON/OFF機能を使用する。
動作条件: 回線接続中は電源ON/OFFしない。
 回線接続中でも電源ON/OFFする。

間隔指定
間隔:

時刻指定
 時 分 (00:00~23:59)

毎日

曜日指定

:月 :火 :水 :木
 :金 :土 :日

7. その他機能設定

●バーチャルサーバ機能

バーチャルサーバ機能は、インターネット上(リモートホスト)から、LAN側の接続機器にアクセスを行わせる機能です。
通常、LANに設置されている機器は、グローバルIPアドレスでアクセスを行うことはできませんが、プロトコル・TCP/UDPポート番号を指定することによって、アクセスできるようになります。（*DMZと同時に使用することはできません）

【設定方法】

設定ツールのメニューから「ネットワーク」→「バーチャルサーバ」をクリックします。
「バーチャルサーバ」リストのページが表示されます。

ネットワーク

ネットワークの各設定を行います。

バーチャルサーバ

■ バーチャルサーバの設定を行います。

設定の追加 **追加** ← 追加する場合は[追加]をクリック

No.	インターフェイス	プロトコル	開始ポート	終了ポート	サーバのIPアドレス	メモ	操作
1	モバイル通信端末	TCP	80	80	192.168.82.50	http	変更/削除

設定済み項目を変更する場合は[変更]をクリック
削除する場合は[削除]をクリック



バーチャルサーバの詳細設定

No.	1
インターフェイス	モバイル通信端末
プロトコル	TCP
開始ポート番号	80
終了ポート番号	80
サーバのIPアドレス	192.168.82.50
サーバのポート番号	85
外部からのアクセス	INPUTフィルタリングに従う
メモ	http

設定 キャンセル

※ バーチャルサーバの設定は最大32件まで可能

＜設定項目・パラメータ＞

インターフェイス：モバイル通信端末 / PPPoE / WAN

プロトコル：UDP / TCP / all

開始ポート番号：1～65535 (半角数字)

終了ポート番号：1～65535 (半角数字)

サーバのIPアドレス：xxx.xxx.xxx.xxx形式

(バーチャルサーバとして外部に公開する機器のIPアドレスを指定)

サーバのポート番号：1～65535 (半角数字)

(LAN側のサーバに転送するポート番号指定)

外部からのアクセス：すべて許可する

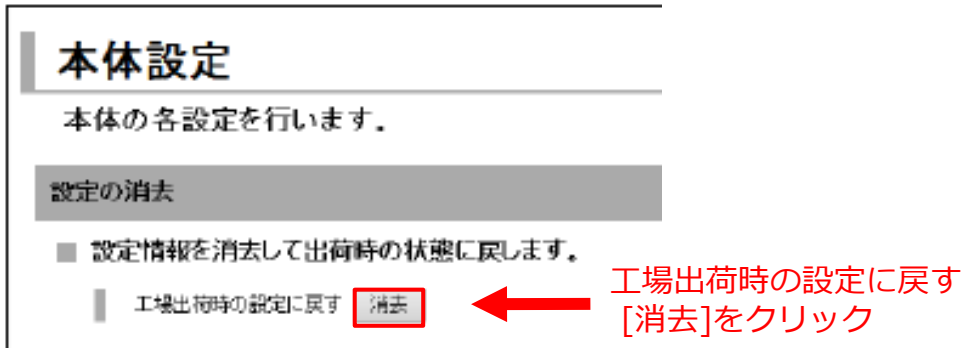
／INPUTフィルタリングに従う

メモ：設定内容等のメモ(半角16文字/ 全角8文字まで)

7. その他機能設定

●初期化（工場出荷時状態）する操作方法

「本体設定」⇒「設定の消去」をクリック



*再起動すると初期化されます。

●ランプ点灯・点滅パターン

名称	ランプ状態	状態
POWER	点灯	電源が入っていて使用可能な状態
	点滅	起動中またはおやすみモードへ移行中
	遅い点滅	おやすみモード中
	消灯	電源が入っていない
VPN	早い点滅	VPN接続が確立されデータ通信が行われている状態
	点灯	VPN接続が確立された状態
	消灯	VPN接続が行われていない
MOBILE	早い点滅	ダイヤルアップ接続でデータ通信が行われている状態
	点滅	電話を掛けている状態
	点灯	ダイヤルアップ接続が確立された状態
	消灯	ダイヤルアップ接続が行われていない
ANT	点灯	モバイル通信圏内（電波強度：強）
	2回点滅	モバイル通信圏内（電波強度：やや弱い）
	点滅	モバイル通信圏内（電波強度：弱）
	消灯	モバイル通信圏外

7. その他機能設定

●ファームウェアのアップデート方法

(1) 「本体設定」⇒「ファームウェアアップデート」をクリックし、現在のバージョンを確認します。

本体設定

本体の各設定を行います。

ファームウェアアップデート

■ ファームウェアのアップデートを行います。

現在のファームウェアバージョン：
RRX220- [REDACTED]

アップデート開始ボタンを押すと、指定されたファームウェアに書き換えを行います。

ファイル名: [REDACTED]

(2) 新しいファームウェアを以下サイトにて確認し、ダウンロードします。

<https://www.sun-denshi.co.jp/sc/download.html>

Version. [REDACTED] (Jul 25 2016) ← 最新のファームウェアバージョンをクリックし、ダウンロードします。

FORWARDフィルタリングの工場出荷時の設定から「受信」設定を削除
クリックジャッキングの脆弱性対策
CVE-2015-7547脆弱性を対策

(3) 上記 (1) の設定画面よりファイルを指定してアップデートします。

本体設定

本体の各設定を行います。

ファームウェアアップデート

■ ファームウェアのアップデートを行います。

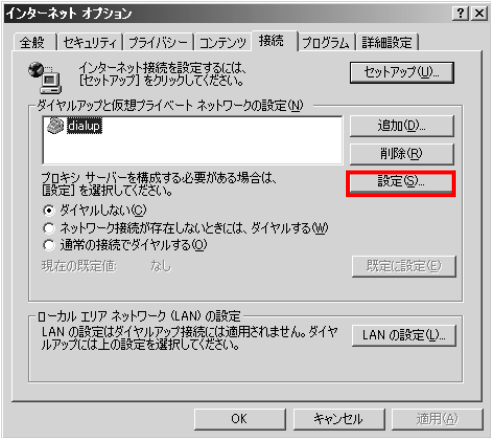
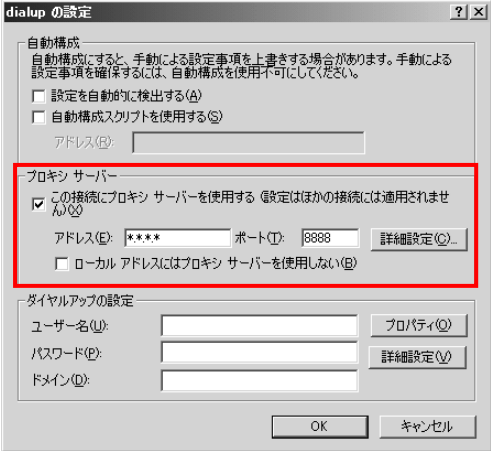
現在のファームウェアバージョン：
RRX220- [REDACTED] [参照]をクリックし、ファイルをアップロードして、[アップデート開始]をクリックします。

アップデート開始ボタンを押すと、指定されたファームウェアに書き換えを行います。

ファイル名: [REDACTED]

再起動するとアップデート完了です。(アップデート中は絶対に電源を切らないようにしてください)

8. 困ったときには

症状	確認項目
ネットワークに接続できない	<p>圏外で使用していませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ユーティリティの電波状態を確認し、サービスエリア内で接続を行ってください。 <p>接続設定に誤りはありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●接続設定のユーザID、パスワードおよびネットワーク接続サービスの接続先（APN）を確認してください。
ネットワーク接続がすぐに切断される	<p>モバイル端末が正しく設定されていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モバイル端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。 <p>電波状態は安定していますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。
ネットワーク速度が安定しない	<p>電波状態は安定していますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。
本体の設定画面にログインできない	<ul style="list-style-type: none"> ●設定を行うパソコン等と本体が接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、無線またはLANケーブルで接続してください。 ●設定画面にログインするためのユーザー名やパスワードが正しいか確認してください。 ●Internet ExplorerなどのWebブラウザがプロキシを使用しない設定になっているか確認してください。 ●設定を行う本体のIPアドレスが正しく設定されているか確認してください。
社内LAN経由（Proxyサーバー経由）でインターネット接続ができない。	<p>インターネットを利用するブラウザにてProxyサーバーの指定が必要です。ブラウザのプロキシ設定にて、お客様のプロキシサーバーのアドレスを記載してください。ご利用になるOSやブラウザソフトの環境によって、設定が異なる場合があります。詳細は、各メーカーへご確認ください。</p> <p>【例】Internet Explorerの場合 「ツール」⇒「インターネットオプション」より以下の手順となります。</p>  <p>↓</p> 

9. お問い合わせ窓口

■ SIMに関するお問い合わせ

ポータル画面からチケットにてお受けしております。

受付時間	24時間365日
対応時間	平日 10:00~17:30 (JST / 土日祝日、年末年始を除く)

※チケットの起票方法は以下を参照ください。

<https://sdpf.ntt.com/services/docs/icms/tutorials/ticket/ticket.html#/>

■ 端末の設定・操作方法に関するお問い合わせ

電話にてお受けしております。

あらかじめお客様の端末のIMEI番号をご準備頂けますとスムーズにご案内できます。

※IMEI番号は装置に貼付したシールに記載されています。

※**接続の初期設定、端末操作方法について、サポート範囲は本書に記載の内容に限ります。**

受付電話番号	 0120-561-749
受付時間	端末操作 平日 9:00~18:00 (JST / 土日祝日、年末年始を除く) 端末故障 平日 9:00~20:00 (JST / 土日祝日、年末年始を除く)

■ 同梱物の欠品に関するお問い合わせ

営業担当へご連絡をお願いします。

【ICMS】RX220 接続ガイド

2023年11月 第1.2版発行
発行 NTTコミュニケーションズ株式会社
©2023 NTT Communications
本書の無断複写複製(コピー)・転載を禁じます。